

令和4年度【理科】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1 年 生	<p>①百分率など小学校での既習事項が定着していない生徒が多く見られる。</p> <p>②実験手順をよく確認しないまま、手順と異なる操作を行おうとする生徒が一定数いる。</p>	<p>①簡易な例題を使用して発問し、振り返りの時間を増加させる。また、数学科との連携を図る。</p> <p>②当該生徒には机間指導の比重を高め、手順や操作について発問することで実験を進める能力を向上させる。また、声かけにより生徒間のサポートを奨励する。</p>	年度末に記入
2 年 生	<p>①テストごとのふり返しへの取り組みが不十分な生徒が多い。</p> <p>②実験の授業の際、実験操作に加わらず実験結果のみを見ようとする生徒がいる。</p>	<p>①授業内で既習事項のふり返しをする時間をとり、定着させる。</p> <p>②班の中で役割分担を明確にし、実験へ参加する意識をもたせる。</p>	年度末に記入
3 年 生	<p>①既習事項の定着が不十分な生徒が一定数見受けられる。</p> <p>②グループワークの際、自分の意見を伝えることが苦手な生徒が一定数見受けられる。</p>	<p>①単元の導入の授業で既習事項に触れる。また、総復習の副教材を活用し、家庭学習での復習を推奨する。</p> <p>②グループワーク時の机間指導に力を入れ、発言を促す問いかけなどをしていく。</p>	年度末に記入